

# ご存知ですか

## 品川独自の教育 “市民科”

説明によれば、品川区独自の小中一貫教育における9年間の中で、子どもたちが自分を生かす能力と社会性を身につける学習として、これまでの道徳と総合的な学習の時間を統合し、その理念に加え実社会で役立つような内容を盛り込んだ単元で構成する学習を市民科として平成18年に立ち上げたそうです。

この市民科の授業は非常に幅広い内容が含まれているため、学校によってその取り組みは様々だと伺ってききましたので、「百聞は一見にしかず」まず私たちの住む荏五地域の学校ではどのように取り組んでいるのか、小学校と中学校の市民科の授業を探訪して来ました。

また意識調査をして児童の実態を把握・分析して課題を設定このことをもとに、授業で習得した知識と技能を学校・家庭・地域で実践できるようにしていきます。



品川区の学校で行われている。あまり耳慣れない授業「市民科」その目的と内容を知りたくて品川区の教育委員会を訪ねてきました。

### 大間窪小学校の取り組み

先生方から低学年の市民科授業の話を知りました。「ルールを守る・人の話を静かに聞く」など、市民科を要として学校の教育活動全体を通して道徳教育をしています。低学年の取り組みの内「正しい挨拶」では、相手の目を見て声を出してから頭を下げるというようにして、頭を下げるのではなく、心を下げることを教え、「交通ルールや団体の生活のルールを守る」では、してはいけないことをした時に、正すべきは正す、教えるべきは徹底的に教えています。そして日常生活に関連した実践の場としての家庭や地域と連携しながら、確実に教える方針をとっています。

### 杜松小学校の取り組み

6年生の市民科の公開授業を見学しました。将来設計の領域で、「その道の達人に学ぶ①」という単元の学習で、4回完結の2回目でした。先生が達人の資料としてハイパーレスキュー隊の指揮者の話を朗読。達人と呼ばれている人でも若い頃に命を救えなかった挫折の経験があり、そこから二度と失敗しないように努力して成功につながっているという内容で、その後児童に心を動かされた所を発表させていました。

また、地域の達人として戸越の畳屋さんから直接話を聞かせ、生き方を身近に感じさせていました。

今回のねらいは挫折や失敗を成功につながる生き方が自分の行き方の参考になることを理解させるものでした。次回は話し合い活動を行い、家庭でも児童自身の将来について話し合い、4回目では学習の成果を振り返らせる進め方をしていくようです。

### 豊葉の杜中学校の取り組み

7年生ではその道の達人に学ぶ①というテーマで劇団四季、荏原警察、南東京CT、日本航空、大成祭典の方を講師を招き将来設計領域の学習を行っていました。

大成祭典からは社長自らが講師として授業を担当、大切な家族を亡くした遺族に向かい合う仕事であるため、関係する方々の心を傷つけないように配慮が大切であることなどを伝えていました。

日本航空からは客室乗務員(キャビンア

テンダント)の方が制服で登壇、乗客に対する気配りやサービ

スだけでなく、表面では見えな

い様な仕事があることを紹介

して、生徒から「仕事のや

りがいいは？」という質問に、「多くの人の

出会いの中で自分が成長できることが嬉しい」という答えが返っていました。これらの授業では各グループとも、生徒から数多くの質問が出たようでした。

8年生のテーマは「わたしたちのまちの伝統と文化」。都内めぐりの遠足で学んだことを通し、文化は多くの人たちが大切に守ってきたものであるということへの気づきと、地域の一員として生徒自身の関わり方を考えさせるような内容で展開していました。

9年生のテーマは「日本の文化を守る」。修学旅行のとき行った伝統文化の友禅染や西陣織、組みひも等の体験学習を通し、この文化の継承問題等まで深く掘り下げた発表が求められていたようです。

保護者の感想

★市民科は、物事を幅広く見て考える力を養う授業と知り期待しています。

★親が子どもにも失敗させまいと先回りし、子どもの考える力を奪う傾向があるのでこの授業は、そのリスクを和らげられると思います。

【裏面に続く】

